



環境維新

高知市

高知市ふるさと納税「環境維新・寄附金」 平成28年度使途報告について

平成28年度中に全国の皆様からご寄附をいただきました高知市へのふるさと納税「環境維新・寄附金」の合計額は、10,339件で311,842千円となりました。

寄附金につきましては、自然環境を守り育てる事業等に充当させていただきました。

以下、充当させていただきました主な事業につきまして報告をさせていただきます。

◇森林環境の保全・整備によるCO₂の吸収・削減

●森林の間伐の実施（市有林造林事業費・造林支援事業費補助金）、●林道の管理（林道等維持管理費）

森林をつくっている一本一本の樹木は、大気中のCO₂を吸収して光合成を行い成長します。森林は、温室効果ガスを吸収・貯蔵し、地球温暖化を防止するという大事な役割を果たしているのです。また、森林内の土壌が降った雨などを蓄える水源かん養の機能も担っています。

しかし近年、木材価格の低迷や森林所有者の高齢化などにより、手入れが行き届かず森林の機能の維持が難しくなっています。高知市は、市域の約55%を占める森林（約1万7千ヘクタール）の保全に取り組んでいます。

森林保全の要となる間伐事業の実施及び支援と、間伐のために必要な林道等の管理に対して、寄附金の一部を充てさせていただきました。



●樹木が混み合っている間伐前の森林



●間伐のために重要となる道路の整備



●間伐作業の様子



●太陽光が差し込む間伐後の森林

「間伐」・・・成長するとともに混み合ってきた森林で、曲がったり弱ったりしている木を伐採することです。混み合ったままだと、木の成長が悪くなるとともに、森林内に日が差さず、下草が育たないため土砂が流出し、保水力も低下します。

その他、●木材普及への啓発（森林保全推進事業費補助金）、●CO₂の吸収・削減の推進（オフセット・クレジット創出事業費）に寄付金の一部を充てさせていただきました。

◇環境負荷の低減と生態系の回復

●魚類の資源増殖・水生生物の環境づくり（淡水魚増殖事業費）

高知市の中心部を流れ、アユなど水生生物が多く生息する「鏡川」は市民に親しみのある河川となっています。

この河川環境を保護するため、アユ、アメゴ、モクズガニ等の放流事業に寄付金の一部を充てさせていただきました。



●アユの放流



●アメゴの放流

●環境に配慮した農業活動の支援（環境保全型農業直接支援対策事業費交付金）

農業者等が地球温暖化防止を目的とした、農地土壌への炭素貯留に効果の高い営農活動や、生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む場合の支援費に寄付金の一部を充てさせていただきました。



●環境保全に効果の高い営農活動

●農業用水路等の農村環境の良好な保全活動への支援（多面的機能保全管理活動支援事業費）

農業・農村の維持や農地の持つ多面的機能（国土保全、水源涵養、自然環境、景観、生態系）発揮に向けて、地域活動組織が取り組む水路の泥上げや農道の路面維持、水路・農道の補修などの活動支援に寄付金の一部を充てさせていただきました。



●農地維持への取組み



●資源向上（長寿命化）取組み



●資源向上（共同）取組み



●子どもたちへの環境学習の推進（環境保全啓発推進事業）

高知市では、森・里・海をつなぐ環境軸である清流鏡川を中心として、環境学習や自然体験の機会創出に取り組んでいます。

平成27年度は、次世代を担う子どもたちやその保護者に鏡川の豊かさを実感してもらうことにより、身近な自然環境への愛着と保全意識を育ててもらうため、「親子ホタル教室」や「遊ぼう・学ぼう・味わおう～夏休み！鏡川わくわくツアー～」など、様々な環境学習会を行いました。これらの事業費に寄付金の一部を充てさせていただきました。



●ホタルをテーマにした環境学習講座



●親子で鏡川の豊かさを実感してもらう「夏休み！鏡川わくわくツアー」



●川遊びを満喫！

●「平成の名水百選・鏡川」の清流保全の推進（鏡川清流保全対策事業）

高知市の中心部を流れ、市民の飲み水や憩いの場となっている鏡川の清流や流域の自然環境を保全するため、高知市では、新鏡川清流保全基本計画に基づき、様々な事業を実施しています。平成27年度は、鏡川における問題点及び課題の実態調査や清流のシンボルとされるアユの遡上・産卵場にかかる自然環境調査の実施、また鏡川こども祭りにおいては、鏡川の生きもの観察会を行いました。これらの事業費に寄付金の一部を充てさせていただきました。



●アユの遡上・産卵場にかかる自然環境調査



●清流のシンボルである鏡川のアユ



●鏡川の生きもの観察会

◇循環型都市の実現

●ごみ焼却施設でのバイオマス発電・エネルギー活用（清掃工場整備事業費）

高知市では、早くから市民参加によるごみの分別収集を導入するなど、循環型社会の構築に向けた取り組みを行ってきました。

ごみ焼却施設の高知市清掃工場では、バイオマス発電に取り組んでいます。ごみ焼却時に発生する熱を、ボイラにより蒸気として回収することで発電し、清掃工場の電力をまかなうとともに、隣接する余熱利用温浴施設「ヨネッツこうち」へ電力・高温水・冷水を供給、さらに余剰電力を電力会社へ送っています。寄附金の一部を、この清掃工場の整備費用に充てました。



●ごみ焼却熱を活用しバイオマス発電を行う高知市清掃工場



●蒸気を取り込み発電に繋げる清掃工場のボイラ施設



●清掃工場に隣接する余熱利用温浴施設「ヨネッツこうち」

●「土佐から始まる環境民権運動」の推進（環境民権運動推進事業費）

高知市では、温室効果ガスの排出を抑制し、環境への負荷の少ない低炭素社会の構築に向けた取り組みの一環として、市民、事業者、行政が一体となって環境保全活動に取り組む「土佐から始まる環境民権運動」を実施しています。

平成27年度は、小学生を対象に、夏休みの5日間、家庭における節電にチャレンジしてもらった「よさこいE C Oライフチャレンジ2015」を実施し、参加賞及び入賞者へ表彰状・賞品を授与しました。この事業費に寄附金の一部を充てさせていただきました。



●受賞者の集合写真



●受賞者の取組内容紹介

●低炭素型交通の推進（低炭素型交通推進事業費）

高知市では、地球温暖化防止に向けて、低炭素型交通を促進するための新たな取組として通勤・通学手段を自動車から自転車と公共交通機関への転換を図る「サイクル&ショッピング」事業を開始しました。

「土佐から始まる環境民権運動推進協定」を締結している量販店の協力により、公共交通結節点に近接する店舗の既設の駐輪場を、サイクル&ライドのステーションとして活用するものです。

平成27年度は、市内量販店6店舗の協力を得、10人の利用登録がありました。



●廃棄物の減量・リサイクルの推進（ごみ減量リサイクル推進事業費）

高知市では、循環社会の構築を目指して、家庭ごみの減量と再資源化の推進に取り組んでいます。

平成27年度は、未来を担う子どもたちに地球環境、とりわけ身近なごみ問題に関心を持ってもらうため、社会科副読本を作成し、学校での環境教育・学習での活用を図りました。

加えて、環境標語を募集し、入選者には表彰状を授与するとともに、優秀作品をごみ収集車両の側面に掲示しました。

また、夏休みには親子清掃施設見学バスツアーを開催するなど、ごみに対する理解を深めてもらうための取り組みを行いました。

これらの事業費に寄附金の一部を充てさせていただきました。



●環境標語を募集し、優秀作品はごみ収集車両の側面に掲示



●小学校4年生の社会科副読
本「ごみゼロたんけんたい」

●親子でごみ処理現場を体験してもらおう清掃施設見学バスツアー

◇その他（寄付者の指定分野）

自然環境を守り育てる事業以外に、寄付者から用途の指定がありましたので、●市史編さん事業費、●在宅重度身体障害者移動支援事業費、●親子絵本ふれあい事業費、●へき地診療所経費、●動物愛護推進事業費、●教材整備事業費に、寄付金の一部を充てさせていただきました。